



251人が参加し、長尾川への一斉放水では虹が架かる

「消防力の強化に努める」 決意新たに、出初め式を挙行

本町消防団は1月5日、中川根中学校体育館で出初め式を挙行。

グラウンドで訓練披露（自動車ポンプ操法・第2分団、小型ポンプ操法・第5分団）と長尾川で全14隊による一斉放水も行われ、防火の決意を新たにした。

式典で鈴木町長は「団員が減少する中、本町約5万人を守ってくれていることに敬意を表する。東日本大震災以降、想定外とされてきた災害に対応を迫られる厳しい環境ではあるが、頑張っていて欲しい」と団員に期待を寄せました。

栗田浩行団長は「高齢化率が40%を超える本町において、町民が消防団に寄せる期待は大きい。実戦に即した訓練を継続的に実施し、消防力の強化に努めよう」と激励しました。

グラウンドでは、自動車1隊と小型1隊が訓練披露を行い、その後、長尾川に向け全14隊が一斉放水を行い、来賓と集まった近隣住民、約70人が勇ましい姿を見届けました。長年にわたり活動に尽力した団員に表彰もあり、被表彰者は次のとおりです。

【日本消防協会会長表彰】
精績章 佐藤淑彦

【県消防協会会長表彰】

功績章・勤続功労章（25年） 佐藤淑彦、太田訓史

▼特別功労章・勤続功労章（20年）

中村浩信、和田昭宏、中村益

幸、井澤正登、川畑昭尚、太田克哉、松永慎也、堤孝行 ▼功労章・勤続功労章（15年） 鈴木章生、花島正彦、石切山喜一、中村慎、鳥澤和昭、坂本匡広、岡本育夫、山口順一郎、筒井健吾、美作剛宏、森下忠明、前田猛紀 【県消防協会会長・

榛原支部長表彰】勤続功労章（10年）・功績章（10年） 瀧智之、大森敬久、景山陽二、橋本立生、伊藤伸浩、小左和之、中村雅一、櫻下直也、瓜生雅弘、柴田直樹、中村孝浩、西村秀樹、野口章久、中野健二郎、森下一輝、嶋和也、澤本和也、小澤豊喜、小林大介、原田竜亮、山本恵太 【県消防協会榛原支部長表彰】特別功労章 向島裕人、大村善彦、中村剛、山下光輝、高橋寛明、松本佳樹、嶋和也、小澤豊喜、伊藤享広

【県消防協会榛原支部長・町優良団員表彰】勤続功労章（5年） 風間光一郎、中村直人、西畑誠人、三谷雄也、小池周作、花村悠紀、西郷純一、土屋隆宏、中田貴之、長嶋謙至、中村英生、澤本浩光、山田真也、山田雄也



勝ち

こんにちは
おおむらあすみ
大村朱澄
です!

vol. 12

にこだわる

—2012年はロンドン五輪を振り返り「経験」、2013年は化けるという意味から「進化」と決意を記していただきました。ロンドン五輪を経験し、メンタル面や体づくりの課題を克服し、ゼロではなくイチに戻ってトレーニングを積み、レース本番では自分の力やパフォーマンスを発揮したいとのことでした。まず、一年を振り返りテーマに沿ったレベルアップは図れたか教えてください。

一歩ずつ成長できていると感じています。(ペアを振り返り)お互いを理解し、どんどん良くなってきたと思います。個人的にもトレーニングに対しての姿勢や取り組み方いい影響を与えてくれます。メンタル面についても、悪い結果だとしても課題を理解し、評価して改善につなげることができてきたと思います。

—次に昨年の広報紙『こんにちは大村朱澄です!』各号で挙げていただいた課題について聞かせてください。

vol.⑤「世界で勝つためには『自分との戦いに勝つこと』から」

▼「世界で勝つためには『自分のベストを出すことの戦いに勝つ』こと。課題はレース前半にある」

どのような展開でも自分のベストパフォーマンスを出せるよう、自分を形成していくことが大切です。ペアの場合、2人のシングルベストの平均タイムから『マイナス12秒』を達成することを目指しています。そのためにはお互いのリズムを大切にしたいです。

vol.⑥「カヌーに感謝」から

▼「いかに自分自身を追い込んでいけるか、弱い自分を超えていけるか」
トレーニングとレースのいずれにも言えることですが、自分の限界に挑戦し、向き合っていくことを意識しています。

vol.⑦「もっと強くもっと速く」から

▼「いつも通りやることと、今までやってきたことを信じる」と
準備してきたことを10割、レースで発揮できるようにしたい。高校の時、レース前に兄から『いつも通りやれ』と言われたことがあります。それから、いつも通りをイメージすることを大切にしています。

vol.⑧「自分を磨く」から

▼「来年のアジア大会を見据えて、アジアで勝つというのが自分の中での一つの基準」

このアジア大会というのは五輪同様、4年に1度の開催です。五輪のアジア版と位置づけられ、五輪の中間

に開催されるため、自分の力試しの目安となります。2016年のリオデジャネイロ五輪を見据えて大切な試合となります。

vol.⑨「スポーツ祭東京2013」から

▼「結果以上に、今回は今の自分の弱さが出てしまったレース」

8月の世界選手権以来、不調が続いていました。パフォーマンスのピークを過ぎ不調な時でも、結果を出せる選手にならなくてはなりません。メンタルだけでなく、コンディショニングやテクニックに関して磨きを掛けていきます。

—最後に、2014年の抱負について聞かせてください。

『勝ち』にこだわります。負けたレースは全て奪還していく気持ちで頑張ります。自分をさらに磨き、リオに向けギアを上げていきます。

—町民の皆さんへメッセージ

『広報の連載を楽しみにしているよ』とたくさんの人に声を掛けていただき、うれしく思います。温かく見守っていただいていることに感謝し、結果でお返ししていきたいと考えています。自分の夢に向かって前進していきます。今後も応援、よろしくお願ひします!